

# 学校だより(ねあがい)

令和元年12月24日発行 パート2 校長 石田 恵一

## 文化祭の子ども達の感想から2学期を振り返る

この紙面では、1年生と3年生の学年便りに掲載された文化祭後の感想を紹介しながら、2学期の子ども達の頑張りと成長を、皆さんと共に振り返りたいと思います。

### 「初めての文化祭」

中学校最初の文化祭は、思い出に残る良い文化祭になり、その良さを知ることが出来ました。

文化祭一日目は3年生を中心とする演劇を見て、気持ちがこもっていて見ている自分も、その物語の中にいるかのように感じられて、とても面白かったです。文化祭を成功させるために、頑張って何度も放課後や休み時間などの時間を使って練習していたことがわかりました。また、演劇の裏でも、背景や照明などのたくさんの準備をしていて、その演劇の裏で支えていなければ演劇は成功しなかったと思うので、支えていた人達にも感謝したいです。

二日目の合唱コンクールでは、優秀賞で最優秀賞ではなかったですが、自分のクラスでは、一人一人がしっかり声を出して、一人一人のハーモニーをタントに響かせることが出来たと思います。課題曲が決まって、最初はみんながまとまらず、声があまり出ていなかったけれど、練習を毎日続けて、その日の反省をクラスみんなで直していく、良い合唱が出来たので良かったです。また、2年生や3年生の合唱を聴いて、1年生とは違う大きな声を出していく、やっぱりスゴイと思いました。来年は、1年生が驚くような合唱をしたいと思いました。

合唱コンクールと演劇の文化祭でどちらにも共通していることがあると思いました。それは、どちらも裏で支えてもらって成功しているということです。また、文化祭以外に裏で支えて貢っていることもあるので、支えて貢っていることに感謝したいと思います。

1年男子

### 「文化祭」

中学校になって初めての文化祭だったけれど、とても楽しい行事でした。

初日の演劇の「リア王」は、バットエンドな展開の話だったけど、あれだけ役を生き生きとしていて「すごいな」と思いました。背景の絵や椅子などの道具に剣などの小道具もかなり手が込んでいて、とても完成度が高かったです。役者を集めてから1・2ヶ月で、ここまで出来たのはすごかったです。

合唱コンクールでの合唱は、5組としてはとても良い合唱だったと思います。リハーサルの様に歌詞を間違えることもなかったし、声が小さかったとか、音が合ってなかったとか、そんな感じの大きな声もなくて、自分達は大成功だったと思います。でも、2・3年生の合唱に比べたら、まだまだだと思いました。1年生の合唱は歌も良かったけれど、パフォーマンスを入れるクラスもあって、素晴らしいかったです。3年生は歌自体が伸びがあって良かったです。また、最後のエンディング時に、3年生が息の合ったパフォーマンスをしていて、とても団結力があるな！と思いました。3年生は最高の思い出になったと思います。

エンディングの時の3年生の様子は、とても良い人間関係がないと出来ないことだし、自分達も「あんな風になれたら良いな！」と思ったし、「あんな風にして卒業して行けたらなー」と思いました。

1年女子

## 「文化祭を振り返って」

僕は今年の文化祭は今までとは違い「特別なものだったなあー」と感じました。あっという間に終わってしまったけれど、楽しむことが出来たし、みんなの個性が良く出ていた文化祭でした。

一つ目の演劇では、キャストのみんながとても格好良かったし、それを支えるスタッフのみんなが本番に向けてしっかり準備して頑張って来たということが伝わる演劇でした。キャスト一人一人の表情や態度、そして長い台詞を、役になりきって言っている姿に感動しました。また、話の内容も人間関係について考えさせられることで良かったし、笑いもあって見応えがあったと思います。

二日目の合唱コンクールでは、とても緊張しました。課題曲も自由曲もそれぞれのポイントに気をつけて歌うことができました。結果は最優秀賞を取ることができて、とても嬉しかったけれど、それ以上にクラスのみんなと、色々なことがあったけれど、最高の合唱を創り上げることができたことが一番嬉しかったです。最後の学年合唱では、3年生らしく、堂々と歌うことができて楽しかったし、良い思い出になったと思います。

文化祭を通して、クラスや学年の絆が深まったと思います。これからはスイッチを切り替えて、受験に向けて頑張って行きたいです。

3年男子

## 「中学校最後の合唱コンクール」

文化祭二日目。いよいよ待ちに待った合唱コンクール。人生でラストになるかも知れないというこの1年生や2年生の時とは違った思いで臨む合唱コンクール。私達のクラスの自由曲は「あなたへ」で、放課後の合唱練習は試練の繰り返しが多かった。私達の合唱から思いが伝わってこない等と厳しいこともたくさん言われ、クラスで歌詞の意味も考えたが、なかなか私達の合唱は変わらなかった。私は「旅立って行く大切なあなたのメッセージを届けたい！」しかも旅立っていく人は「毎日が苦しくてすさんでいた時に手と手を取り合った人」「手のぬくもりをくれた人」「信じられる喜びを教えてくれた人」で今、心から大切に思っている人なのだ。想いを「あなた」へ届けようと心を一つに、全力で歌い切ることを目標に本番を迎えた。私達のクラスは全体の最後で、ずっと緊張が続いていた。前のクラスが歌っているときは、緊張がピークに達していた。

いよいよ私達の番。合唱は技術なんかではない。最後はクラスの気持ちの勝負。ここまで家でも学校でも、たくさん練習し頑張って来た私達なら、きっと大丈夫だろうという思いを胸に、全力で歌い切った。歌い終わった後の、これまでに感じたことも無いほどの達成感は、忘れられない。結果は賞を取れなかったが、それ以上にこの合唱を通してもっと素晴らしいものを得られた。中学校最後の合唱コンクールは最高の思いとなった。

3年女子

